

令和7年度 入学案内

愛媛県立今治北高等学校
 今治市宮下町2丁目2番14号
 電話 (0898) 32-2200
 FAX (0898) 25-6780

I 本校の概要

1 沿革・施設

明治32年創立、126年の歴史と伝統を誇り、3万余名の卒業生を送り出している伝統校である。校舎・運動場その他の施設・設備はよく整備され充実している。

2 スクール・ミッション（期待される社会的役割、目指すべき学校像）

今治市にある普通科と商業科の併設校として、社会をけん引する人材の育成という地域の期待に応えます。また、現在と将来をつなぐキャリア教育を通して、国際的視野とリーダーシップを兼ね備え、志を高く持ち、自ら学び、考え、行動する人材を育成します。

3 スクール・ポリシー

- グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）
 - ・将来、それぞれの場でリーダーシップを発揮できる生徒を育成します。
 - ・海外留学や研修により、国際的視野を持つ生徒を育成します。
 - ・自分のために、そして誰かのために頑張り抜く生徒を育成します。
 - ・勇気を出して、一歩踏み出せる生徒を育成します。
- アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）
 - ・本校の歴史と伝統を受け継ぎ、将来の努力精進が期待できる生徒を求めます。
 - ・他者と協調するとともに、高い目標を掲げて何事にも継続して活動できる生徒を求めます。
 - ・進路目標や将来の夢を実現させるために、学力の一層の向上を目指し、主体的に学ぶことのできる生徒を求めます。

4 設置学科

- 普通科

普通教育をとおして一般的な教養を高めるための学科である。能力・適性・進路等に応じて類型を設け、教科・科目の選択ができるようにしている。
- 商業科

簿記会計や情報処理、マーケティング、グローバル経済等、商業に関する専門知識や技能・実践力を身に付ける学科である。将来の職業人の育成を目指して、就職希望に対応するだけでなく、専門科目の他に普通科目の選択幅を拡大して大学・短大・各種専門学校への進学にも対応できるようにしている。

商業科

会計分野を中心に、ビジネス情報分野やマーケティング分野も学習し、実社会の業務に生かせるビジネスの基礎的な知識や技能を身に付ける。

情報ビジネス科

ビジネス情報分野を中心に、会計分野やマーケティング分野も学習し、ビジネス全般においてICTを活用できる基礎的な能力と態度を養う。

5 生徒の活動状況

- 学習活動

整備された教室・図書館・スポーツ施設を活用して、進路・適性に応じて能力を引き出し、徹底した個別指導が行われている。
- 特別活動

体育部16部、文化部17部に、全校生徒の94%が入部し、日々の練習に取り組んでいる。体育部、文化部ともに全国大会や四国大会において活躍している。そのほか各種委員会もあり、生徒会活動もさかんである。全国大会に出場した部活動は次のとおりである。

体育部

ボート 全国高校総体、国民スポーツ大会出場
 陸上競技 全国高校総体出場
 ソフトテニス 全国高校総体出場（女子）
 弓道 全国選抜大会出場
 アーチェリー 全国高校総体、国民スポーツ大会出場

文化部

簿記 全国大会出場
 珠算 全国大会出場
 ワーク 全国大会出場
 写真 日中韓フォトコンテスト入選

6 卒業生の進路状況

- 進学

普通科のほとんど全員が大学中心に進学し、商業科も80%程度の者が進学している。
 令和5年度の国公立大学合格者は普通科、商業科合わせて87名（滋賀大、岡山大、広島大、山口大、愛媛大、高知大、九州工業大、広島市立大、愛媛県立医療技術大、高知工科大、北九州市立大など）である。
 私立大学合格者は360名（早稲田大、明治大、同志社大、立命館大、関西大、関西学院大、近畿大、京都産業大、松山大など）である。
- 就職

地元企業をはじめとする各業界で卒業生は高く評価されており、市内企業からの求人も多い。令和5年度の就職者は16名であった。

7 教育課程（令和7年度入学生 予定）

普通科	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
1年	共通	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合		数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学A	化学基礎	体育	保健	芸術Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	論理表現Ⅰ	家庭基礎	情報Ⅰ	総合探究	HR															

2年	文系	論理国語	古典探究	公共	地理探究 日本史探究	数学Ⅱ	数学B	数学C	生物基礎	地学基礎	体育	保健	芸術Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ	論理表現Ⅱ	総合探究	HR	
	理系	論理国語	古典探究	公共	地理探究	数学Ⅱ	数学B	数学C	物理基礎	生物基礎	化学	物理	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理表現Ⅱ	総合探究	HR

3年	文系	論理国語	古典探究	地理探究 日本史探究 世界史探究	地理研究 日本史研究 世界史研究	政治・経済	数学探究Ⅰ	化学探究 地学探究	生物探究	選択①	体育	英語コミュニケーションⅢ	論理表現Ⅲ	総合探究	HR
	理系	論理国語	古典探究	地理探究	数学Ⅲ 数学探究Ⅲ	数学探究Ⅱ	化学	物理	理科探究	体育	英語Ⅲ	論理表現Ⅲ	総合探究	HR	

※ 選択① …… 数学探究A、芸術(音楽探究・美術探究・書道探究)、英語探究、家庭(保育基礎・フードデザイン)より1科目選択

商業科	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年	商業科	現代の国語	言語文化	歴史総合	数学Ⅰ	体育	保健	芸術Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	家庭総合	ビジネス基礎	簿記	情報処理	財務会計Ⅰ	HR																		
	情報ビジネス科											簿記	情報処理	ソフトウェア活用																			

2年	商業科	論理国語	古典探究	公共	数学Ⅰ	科学と人間生活	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合	マーケティング	ビジネス・コミュニケーション グローバル経済	財務会計Ⅰ	原価計算	ソフトウェア活用	キャリアデザイン	HR
	情報ビジネス科											財務会計Ⅰ	原価計算	ソフトウェア活用	プログラミング		

3年	商業科	論理国語	古典探究	地理総合	数学A	物理基礎	体育	選択②	英語コミュニケーションⅢ	課題研究	総合実践	ビジネス法規	財務会計Ⅱ	キャリアデザイン	HR
	情報ビジネス科					化学基礎 生物基礎 地学基礎							プログラミング ネットワーク管理	ネットワーク活用	

※ 選択② …… 芸術(音楽Ⅱ、美術Ⅱ、書道Ⅱ)、論理・表現Ⅰ、家庭(保育基礎、フードデザイン)より1科目選択

Ⅱ 一般入学者選抜実施要項

1 募集人員

大 学 科	小 学 科	募 集 人 員
普 通 科		2 0 0
商 業 科	商 業 科	4 0
	情報ビジネス科	4 0

2 出 願 資 格

入学を志願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 令和7年3月末日までに中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校（以下「中学校等」という。）を卒業する見込みの者又は中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者。ただし、愛媛県県立中等教育学校の前期課程から後期課程へ令和7年度に進級する意思を示した者を除く。
- 中学校等を卒業した者又は中等教育学校の前期課程を修了した者
- 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

3 通 学 区 域

- 通学区域は、生徒の保護者（生徒に対して親権を行う者、親権を行う者のないときは後見人をいう。）の住所によるものとし、普通科は下記の区域で、商業科は県下一円である。
四国中央市、新居浜市、西条市、今治市、越智郡、松山市（平成16年12月31日現在における北条市の区域に限る。）
- 募集定員の100分の5を超えない範囲においては、通学区域によらないで選抜する。

4 出 願 手 続

出願期間内に在籍又は出身の中学校等又は中等教育学校の校長を経て、下記の書類等を本校へ提出しなければならない。

志望学科(大学科)については1学科に限る。ただし、商業科(大学科)を志望する者については、一つの小学科を第1志望とし、他の一つの小学科を第2志望とすることができる。

- 入学願書(2,200円の愛媛県収入証紙を貼付)
- 受検票（受検票及びその控えそれぞれに写真を貼付）

※中学校等又は中等教育学校において年間30日以上長期欠席のある入学志願者は、本人の希望により、欠席の理由等を記載した自己申告書（厳封すること。）を入学願書に添え、提出することができる。

※県外からの入学志願者は、上記のほか愛媛県県立高等学校入学志願理由書を添えて提出すること。ただし、志願変更期間中における保護者の転勤に伴う県外からの出願については、それに代えて保護者の転勤に伴う入学志願許可申請書を提出すること。

5 出 願 の 期 間

受 付 期 間	入 学 願 書	志 願 変 更	備 考
	令和7年2月10日(月)から 同月17日(月)の正午まで	令和7年2月18日(火)から 同月25日(火)の正午まで	土曜日及び日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日を除く
受付時間	午前9時から午後4時まで（ただし、2月17日及び2月25日は午前9時から正午まで） 郵送等の場合も上記期間内に必着のこと。		

6 志 願 変 更

- 入学願書受付締切後、「Ⅱ-5」に定める期間内において、いずれの学校、いずれの課程、いずれの学科へでも1回に限り志願変更をすることができる。
- 志願変更をする場合は、その旨を出身中学校に申し出て、その手続を依頼すること。この場合、定時制を志願していた者は、あらたに1,250円の愛媛県収入証紙を必要とする。

7 学 力 検 査 日

期 日	時 間	教 科 等
令和7年 3月6日(木)	9:00～ 9:30	点呼・受検上の注意
	9:45～10:30	国 語
	10:50～11:15	国 語 (作 文)
	11:35～12:25	理 科
	12:25～13:20	(昼 食)
13:25～14:15	社 会	
令和7年 3月7日(金)	9:00～ 9:30	点呼・受検上の注意
	9:45～10:35	数 学
	10:55～11:55	英 語
	11:55～12:55	(昼 食)
13:05～	面 接	

(2) 検 査 場

本校で実施する。3月6日・7日の両日とも8時50分までに本校体育館に集合すること。

(3) 遅刻、欠席について

各教科とも定刻5分前に入室すること。遅刻者は原則としてその時間の教科を受検することができない。

(4) 持 参 品

ア 受 検 票

イ 受 検 用 品

鉛筆（シャープペンシルも可）、鉛筆削り、消しゴム、コンパス、定規(分度器兼用のものを除く。）
(下敷きの使用及び分度器、計算・翻訳・通信等の機能を持った物品等の持ち込みは認めない。)

ウ 弁 当

(5) 面 接

志願者全員に面接を実施する。

8 入 学 者 の 選 抜

本校の普通科、商業科(小学科)ごとに、次の第1選抜及び第2選抜の順に選抜し、合格者を決定する。ただし、入学志願者が募集人員（推薦入学確約者を除く）を下回っている場合は、以下のア及びイ中の「募集人員」は「入学志願者数」と読み替えるものとする。

ア 第1選抜

調査書点が上位から募集人員の90%程度以内にある者のうち、調査書の記録並びに面接の結果が良好な者を対象にして、学力検査の成績の上位順に募集人員の70%程度の者を選抜する。

イ 第2選抜

第1選抜で選抜されなかったすべての者を対象に、学力検査の成績(A)、調査書点(B)、調査書の各教科の学習の記録以外の記録並びに面接の評価の得点(C)を用いて、募集人員の30%程度の者を選抜する。ただし、学力検査の成績、調査書の記録、面接の結果のいずれかにより、本校生として成業の見込みがないと判断した場合には、合格者とししない。

なお、本校におけるA、B、Cの比率は、A：B：C＝4：3：3 とする。

9 合 格 者 の 発 表

令和7年3月18日(火)午前10時に、本校において、受検番号を掲示して行う。また、愛媛県教育委員会が指定するウェブページにも、受検番号を掲載する。電話による問い合わせには一切応じない。

10 学 力 検 査 得 点 の 開 示

郵便等又は口頭による開示請求をすることができる期間は、令和7年3月18日(火)から1月間とする。

郵便等による開示請求は、試験等成績開示請求書に必要事項を記入の上、入学志願者本人が本人であることを確認できる顔写真付きの書類（受検票等）の写し及び返信用封筒（宛先を明記し簡易書留郵便料金相当分の切手を添付したもの）を同封し、志願先の高等学校に送付することにより行うこと。

口頭による開示請求は、入学志願者本人が本人であることを確認できる顔写真付きの書類（受検票等）を持参の上、土曜日、日曜日及び休日を除く日の午前9時（令和7年3月18日(火)にあつては、午前10時）から午後5時までの間に、志願先の高等学校で行う。開示を希望する者は、その旨を本校事務室まで申し出ること。

入学志願者本人に対して調査書点並びに学力検査の教科別得点及びその合計得点の開示を行う。

Ⅲ 合格者発表後に関すること

1 合格者の登校日

合格者は令和7年3月21日(金)午後1時に筆記用具を用意し保護者同伴のうえ、本校に集合すること。やむを得ず欠席する場合は、必ず届け出ること。

2 入学辞退について

入学を辞退する者は、できるだけ早く、出身中学校長等を通じて書面で届け出ること。

3 入学後の経費の概略（令和7年度は下記の見込みである）

(1) 入 学 金	5,650円	(8) 教科書代	約 10,000円
(2) P T A 諸費月額	1,200円	(9) 進路指導費	約 3,000円
(3) 文化体育後援会月額	1,000円	(10) 年間必要経費	商業科 約 85,000円
(4) 生徒会費月額	450円	(模試・副教材等)	普通科 約 83,000円
(5) P T A 入会金	2,000円	(11) 授業料(月額)	9,900円
(6) 生徒会入会金	1,000円	(免除される就学支援制度あり)	
(7) 文化体育後援会寄付金	24,000円		

4 就学支援金制度

月額9,900円の授業料が免除される制度。〔計算式：課税標準額（課税所得額）×6％－市町村民税の調整控除の額〕が、30万4,200円（年収約910万円）未満の世帯が受給対象となる。詳しくは合格者登校日で説明する。

5 奨学資金

学費の支弁困難な者に対しては、学校が直接扱うものとして下記のものがある。申込み手続については、入学後説明する。

種別	月額等	貸 与 月 額	備 考
愛媛県奨学金	自宅通学	5,000～18,000円	年1回採用、家計急変による緊急採用もある。
	自宅外通学	5,000～23,000円	

6 そ の 他

制服・通学靴等については合格者に対して指示する。

Ⅳ 追検査について

追検査は、令和7年3月13日(木)に実施する。詳細は、「令和7年度愛媛県県立高等学校選抜実施要項・同細目」を確認すること。